

土岐川・庄内川流域タイムラインについて

令和8年6月19日

土岐川・庄内川の水害から命を守るための会議 協議会

流域防災タイムライン作成の目的

「人的被害ゼロ」を実現するために早い段階からの連携した防災行動を明確化

<基本となる3つの視点>

誰が主体となるか？

→ **河川管理者**を基軸とした広域管理者

何を規定するか？

→ 広域管理者が**関係機関等と連絡・連携**する内容とその大まかな時期

何に留意すべきか？

→ エンドユーザー（自治体・住民）の**行動にどう影響するか**に配慮

流域防災タイムラインで期待される効果

煩雑になりかねない**河川管理者等のタイムラインのシンプル化・一元化**

<解決すべき3つの課題>

流域内の市区町村別の各タイムラインを個別に確認しながらの防災対応は非常に煩雑になりうる

→ 河川管理者を基軸とした広域管理者の基本行動は流域タイムラインに組み込むことで**管理を一本化**

気象庁からタイムラインに関する危機感共有会議の乱立を懸念する意見

→ 市町村別で実施せず**流域タイムラインの危機感共有会議に一本化**

流域内自治体の意思決定トリガーの精査が必要だが、その機会や場を設定できていない

→ 流域防災タイムラインの検討・議論を通じて、**流域全体の意思決定トリガーを一括精査**

期待する波及効果

流域防災タイムラインを参考にした自治体タイムラインの作成促進（流域防災力の全体的な向上）

庄内川流域における各種TLの位置づけ整理案

庄内川流域における整理案



空間スケールの大きさ	名称	位置づけ	主な使用者
	流域 タイムライン (自治体支援ツール)	流域全体を捉えた『 広域防災対応 』および『 意思決定支援 』のためのタイムライン（個々のTLを運用するのではなく、統合的に運用することで効率化を図る） 連動	河川管理者 道路管理者 気象台 都道府県 等
	自治体 (多機関連携) タイムライン (住民・地域支援ツール)	対象自治体に着目し、住民等の命を守るために『 意思決定 』および『 避難行動支援 』を行うためのタイムライン 連動	自治体・自治区 消防署・消防団 警察署 福祉機関 等
	コミュニティ タイムライン (地域内行動指針)	対象地区に着目し、地区住民等の命を守るための『 共助に基づく防災行動 』を行うためのタイムライン 連動	(自治体) 町内会 自主防災組織 消防団 等
	家族や個人の タイムライン (マイタイムライン等) (個人行動指針)	個人や家庭に着目し、自らの命を守るための『 自助に基づく避難行動 』を行うためのタイムライン	家族 個人 等

広域管理者のためのTLとして整理し、広域管理者の連携行動や自治体への支援行動を記載

多治見TLや庄内川決壊対応TL検討案(名古屋市)等をイメージ流域TL策定を通じて未策定自治体へも働きかけ

多治見市内のCTLの取り組みのほか、地下街(名駅)TLも特殊なCTL※として位置づけ

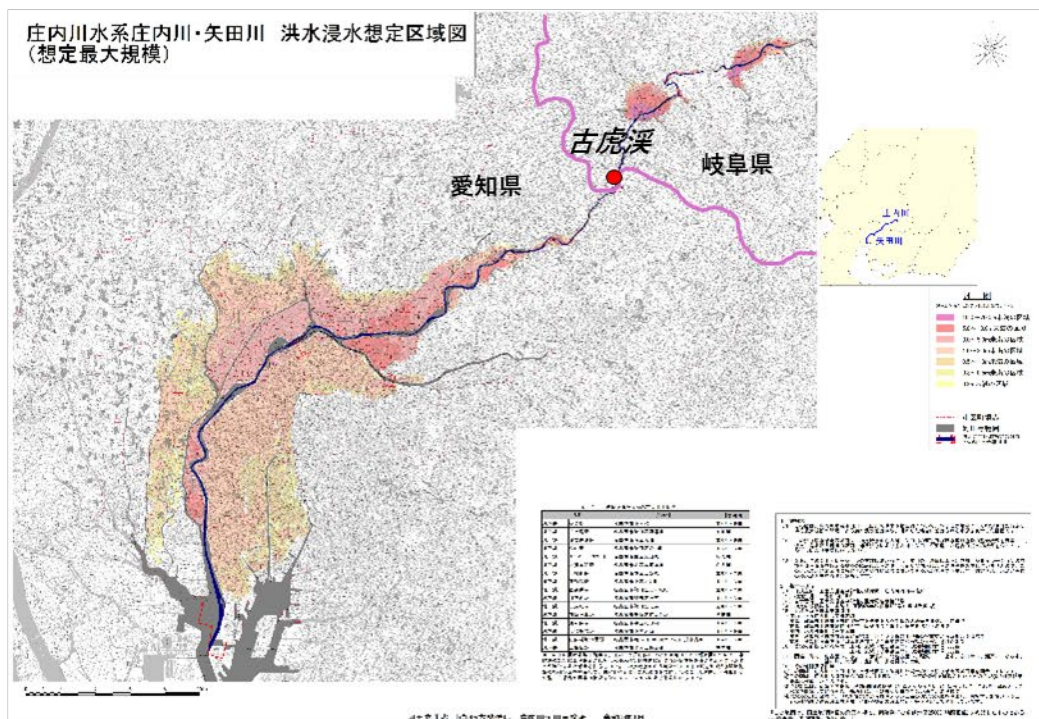
※名古屋駅前地区の地下街TLは「庄内川決壊対応TL＞地下街共通版TL＞個別地下街TL」という構造になるため、大きなCTLと小さなCTLが入れ子状になっているという認識で整理

(東京大学松尾先生資料より)

庄内川流域TLの策定に向けた基本的な考え方(案)

■庄内川流域TLの位置づけ(案)

- ・ **市町を含めて危機感を共有**するための状況定義(流域行動段階・ステージ)を共通認識とする。
- ・ **広域管理者(国・県・気象台等)の連携行動を整理**した行動計画。
- ・ 基本的に個別市町村の行動は流域TLに含めず、個別自治体等の行動整理は各市町のTL内で対応する。
- ・ 自治体間の連携(広域避難等)や特殊な個別対応事項がある場合には流域TLに記載。
- ・ **愛知ブロックと岐阜ブロックに分割して検討**を進める(古虎溪を挟んで氾濫特性が異なるため※)



古虎溪駅付近の庄内川(土岐川)

駅と駅舎の写写真

(<https://www.railwaystation.jp/hikyoueki/kokokei22.html>) より引用

※土岐川(庄内川)の流向等のコメントを加筆

上流側の氾濫流は古虎溪周辺から定光寺(春日井市)周辺までの溪谷により収束して拡散しないと想定。

ただし、溪谷沿い(左岸)の愛岐道路(県道15号線)の取り扱いには配慮。

※愛岐道路は連続雨量150mmで通行規制の基準あり